

編集後記

『公共政策志林』第2号が完成した。今年は原稿本数が多かったのですが、作業も昨年から比べると多くなったが、昨年の実績があり、徐々に慣れてきたため、昨年よりはスムーズに運んだように感じられる。

今年は、特集として「コミュニティ」を取り上げ、コミュニティ研究の第一人者である公共政策研究科の名和田是彦教授（公共マネジメントコース）に巻頭言をお書きいただいた。各コースの教員に依頼した寄稿論文は、市民社会ガバナンスコースは中筋直哉教授に、国際パートナーシップコースは武貞稔彦准教授にお書きいただいた。公共マネジメントコースは名和田是彦教授に依頼し、環境マネジメントコースは辻英史准教授（人間環境学部）に依頼し、こちらは第2特集：まちづくり都市政策セミナー第3分科会に掲載した。まちづくり都市政策セミナーの2013年度のテーマは、コミュニティであったため、このような形に落ちついた。ここには、同分科会で報告していただいた細井保教授（政治学研究科）と山本卓教授（法学部）にもお書きいただいた。

2013年度は、法政大・北京大・延世大による学術交流協定締結記念国際会議を8月30日～31日に開催したため、そこに提出された論文を掲載することにした。国際会議のテーマは、「東アジアにおける公共政策の課題」(The Issues of the Public Policy in East Asia)であった。北京大学政府管理学院の白智立副教授、北京大学政府管理学院博士課程在籍の王琳琳氏と張昊氏、および延世大学政経大学院博士後期課程在籍のSaiful Islam氏から提出されたペーパーを改訂してもらって掲載した。また日本側参加者である公共政策研究科博士後期課程在籍の元田宏樹氏と大石麻子氏にも提出ペーパーを改訂してもらい、掲載した。

さて、査読論文についてであるが、当初は5名からの投稿があったが、査読を経て、1名が辞退と

なったため、4名が最終的に掲載されることになった。公共政策研究科博士後期課程に在籍する蘭亮人氏、同じく蒲生智章氏、同じく向井加奈子氏と藤倉良教授（共著）、2013年度公共政策研究科修士課程修了の加藤雅史氏の4名である。今後はさらに多くの院生の投稿を期待したい。

今回の第2号からは書評も加わった。政策科学研究科博士後期課程に在籍する大倉忠人氏、2013年度公共政策研究科修士課程修了の織戸正義氏、公共政策研究科修士課程に在籍する沖依子氏から原稿をいただいた。書評については、特に制限を設けていないので、多くの院生が研究途上に読んだ著書等を投稿していただきたい。

最後になるが、執筆者の方々には心よりお礼を申しあげたい。また、編集委員の先生方にも感謝しなければならない。間島正秀教授（市民社会ガバナンスコース）、高田雅之教授（環境マネジメントコース）、北川徹哉教授（国際パートナーシップコース）に編集委員として参加していただいた。また、事務職員である石川拓矢さんと高橋史人さんにも、いろいろとお世話になった。さらに、ヨシダ印刷株式会社の山田えり氏には、編集担当者として細やかな配慮と正確な編集作業をしていただいた。これらの方々には心より感謝するとともに、今後の『公共政策志林』の継続に対するご協力とご支援をお願いしたい。

（武藤博己）